

各委員会事業報告

令和5年5月31日(水)



坂口嘉久 職業奉仕委員長



大橋卓司 社会奉仕委員長



佐野栄作 青少年奉仕委員長



矢野聡 国際奉仕委員長



西中亮二 ロータリー財団委員長



森脇祥文 米山奨学委員長



青柳淳 親睦委員長



濱田喜重 増強・職業分類委員長



櫻井宣孝 クラブ奉仕委員長

幹事報告

Secretary

幹事報告 第31回(通算2059回)

・兵庫県陶芸美術館より、特別展「デミタスカップの愉しみ」のご依頼が届いております。

皆様、回覧致しますのでご確認ください。

次回6月7日の例会は各委員会事業報告の続きとなっておりますので多数の参加をお待ちしております。

次回例会よりクールビズが始まります。以上幹事報告でした。



ニコニコ報告

Donation

庄司 武・櫻井 宣孝

5月最終例会となりました。
今日も明るく楽しく、例会を楽しみましょう。

村上 則宏

今年の鮎シーズン始まりました。奈良の天川からスタートして、今年も福井九頭竜川まで通います。
YouTube のりさんの鮎釣り日記で検索してもらって様子が見れますので、いいねボタン宜しくお願いします。

中谷 利幸

誕生日のお祝い有難うございました。

坂口 嘉久・佐野 栄作・大村 裕史
菱田 好美・森本 匡裕・青柳 淳
内海 薫・大橋 卓司・都倉 隆宏
吉川 弘

花をかざりましょう。

井野 隆弘

早退します。



梅雨は、オホーツク海高気圧の冷たく湿った空気と太平洋高気圧の暖かい空気が日本の上空でぶつかることで起こる。勢力が同等の冷たい空気と暖かい空気の境目が梅雨前線で、不安定な空気は雨をもたらし、前線が停滞するために長く続く。だが、世界のほかの地域で同じように寒気と暖気がぶつかる場があっても、梅雨のような長雨にはなっていない。梅雨は東アジア独特の現象なのである。そしてその原因は、平均高度が4000メートルを超えるヒマラヤ山脈とチベット高原にあるといわれている。この時期にオホーツク海高気圧が発生するのは、西から吹くジェット気流の流れの変化による。冬にヒマラヤ山脈の南側を通過していたジェット気流は、春に北側に移動すると、ヒマラヤ山脈とチベット高原にぶつかって二手に分かれる。北の流れは大気を冷やし、南の流れは大気を暖め、日本の東の海上で再び合流して高気圧をつくり出す。また、このジェット気流の蛇行がオホーツク海高気圧を持続させる働きをするため、梅雨はなかなか明けない。もっと季節が進むと、ジェット気流はヒマラヤ山脈とチベット高原の北だけを通るようになり、海水温の上昇で勢力を強めた太平洋高気圧がオホーツク海高気圧を押しやって前線が北上し、ようやく梅雨は終わるのだ。



シミュレーションによると、もしもヒマラヤ山脈が今の半分の高さだったら、日本の雨量も半分程度になり、チベット高原の要素を外すと、梅雨は発生しなくなるという。梅雨時期が近づいてきて、雨が降ると、「梅雨入りしたか？まだか？」「も～来るなら早く来て、さっさと終わって欲しい！」…と、梅雨に入るのは嫌なんですけど、入った？まだ？となんだかそわそわして気になってしまう方も多いと思います。ところでこの、梅雨入りって、ニュースの気象情報とかで「〇〇地方が梅雨入りしました」と言っているのを聞いて、初めて知る、という方が殆どだと思うのですが、この梅雨入り宣言って、何をもちょうど判断しているのか疑問に思いませんか？もう既に結構な頻度で雨が降っているのに、梅雨入り宣言はされていないと、数日経ってから「梅雨入りしました」の発表があって「今さら?!」と思うこともありますよね。これ、なんだか気になりますよね。どうせ来るなら早く来て、早く終わって欲しいのが正直なところです。そこで、今回はこの気になる梅雨入り宣言について、詳しい意味や、何を基準に梅雨入りを判断しているのか、など調べてまとめてみました。

梅雨入り宣言の意味とは？

気象庁がやっているのは、梅雨を予想して、それを速報で発表、つまり梅雨入りの予報をすることなんです。あくまで予報ですから外れることもあります。梅雨入りは大変判断が難しいのです。実際は、「梅雨入りしました」というはっきりとした宣言ではなく、「〇日頃、梅雨入りしたとみられます」という曖昧な表現での発表がされています。正確には「梅雨入り宣言」というのはなくて、実際にあるのは、梅雨入りの予報、ということになりますね。宣言と予報、ちょっとした違いのように感じますが、結構違います。

今年、梅雨の時期になったらぜひ、気象情報を見る時に、このあたりを意識して、発表を聞いてみてくださいね。ちなみに、上記のように入った時点では入りを正確に特定するのが難しい梅雨ですので、その年の梅雨入りは、きちんと観測結果や統計値が出揃ってから、春から夏にかけての実際の天候経過なども考慮して検討し、毎年9月の始め頃に、梅雨の観測結果の確定値として発表がされています。なお、これは梅雨明けもだいたい同じで、梅雨の終わり頃の時期は「梅雨明けしたとみられる」と予報がされ、9月の初めに梅雨明けを計測値として確定し、発表がされます。ただし、梅雨明けは夏を迎えるという意味もあることから、秋の気配があらわれてくる立秋(8月8日)を過ぎると日の特定をしません。即ち梅雨が明けるとは遅い北日本ほど梅雨明けを特定しない年が多くなりそれは、近年増加傾向にあります。毎年同じ気象現象が生じるわけではないので、雨が何日続くとか、降水量がどれくらいとか、決まった型に当てはめて、梅雨入りを判断することは出来ないのです。ですので、年によっては「梅雨入りの予報は6月10日としていたが、後に観測結果を再検討したら、梅雨入りは6月11日でした」というように、予報と確定で、ズレが生じることもあるのです。

例会記録 2023.5.31 (水) 通算 2065 回

ソング 「我等の生業」「四つのテスト」



出席報告 5月17日 会員数39名 欠席者 5名 出席率 85.71% (修正による)
 (この内出席免除者 15名)
 5月31日 会員数39名 欠席者 7名 実出席者数 25名
 (この内出席免除者 15名) 出席率 78.12%

◆ プログラム予定 ◆

6月14日(水)	会長、幹事退任挨拶 ガバナー補佐訪問
6月24日(土)	創立記念例会(21日分)しのべクラブ【親睦委員会担当】
6月28日(水)	休会【定款第7条第1節(d)による】
7月5日(水)	会長・幹事就任挨拶 理事・役員会

●●● 近隣クラブインフォメーションは、高砂青松ロータリークラブのホームページにてご確認ください。 ●●●

会長 庄司武 幹事 藤井宏行 クラブ会報・広報・記録委員長 森本匡裕

例会日時 毎週水曜日 12:30 例会場 高砂商工会議所会議室(2F)

事務局 高砂商工会議所内 〒676-0064 高砂市高砂町北本町1104 電話(079)443-0500